



～看護の魅力を見つけるために～

八雲総合病院一日看護体験が行われました

5月14日、八雲町総合病院にて、高校2・3年生を対象とした一日看護体験を行われました。この体験には、八雲高校、桧山北高校、森高校の3校から助産師を希望する生徒が3名、看護師希望が5名、薬剤師希望が1名の計9名が参加してくれました。

生徒たちは4つの病棟に分かれて行われ、新生児の沐浴^{もくよく}見学やベッド^{がしやう}臥床体験、車いすやストレッチャーでの移動体験、とりみ水の作成や手洗いの実践など、約1時間半にわたり体験が行われました。

また、生徒たちへ向けて、今年度同院に入職した新人看護師4名から、一言メッセージや今後の進学先決定までにやるべきことなどのアドバイスが送られました。

参加生徒の感想文には「改めて助産師・看護師を目指したいという気持ちになった」という決意が綴られており、この貴重な体験が将来の進路選択にとって貴重な一助になったことが伺えます。

参加された皆さんの夢が叶うよう、今後のご活躍を期待しています。



活あわびと二海サーモンに舌鼓！

「あわびと二海サーモンフェスティバル」が開催されました

5月18日、熊石漁港ふれあい広場にて「あわびと二海サーモンフェスティバル」（熊石あわびの里フェスティバル実行委員会主催）が開催されました。あいにくの霧雨の中での開催となりましたが、町内外から多くの来場者が来られ、販売開始から早々と売り切れる商品も出るなど、地元産の食材を味わっておいしかったです。

ステージショーでは、泊川太鼓の会による「泊川豊漁太鼓」や熊石スコップ三味線愛好会による「スコップ三味線ショー」のほか、歌手の檜森結衣さん、道高むつ子さんの「歌謡ショー」など、多彩な催しが行われました。また、豪華景品が用意された「ビンゴ大会」や当たり券が入っていれば活アワビ・二海サーモンがもらえる「紅白もちまき」などにより大いに盛り上がりしました。

地元の魅力が詰まったフェスティバルとなり、訪れた皆さんの笑顔があふれる一日となりました。

